やお市政だより

昭和42年9月5日　第343号　（昭和24年10月10日 第三種郵便物認可）

発行所 大阪府八尾市役所
編集兼発行人 岡田繁春
印刷所 サンケイ印刷株式会社

市民憲章

わたくしたち八尾市民は
1. 若い力をそだてましょう。
1. あたたかい心でまじわりましょう。
1. みどりのまちをつくりましょう。
1. 文化財をたいせつにしましょう。
1. 働くよろこびに生きましょう。

おとしよりを大切に

14日に祝寿式

八百余人を招待して

今月十五日は「敬老の日」です。市では、この日に先立って、十四日午後一時から、八十歳以上のおとしよりの八百四十二人を市立教育センターへ招待して祝寿式を行ないます。

祝寿式では、八十八歳になられた三十九名の方に市長からお祝の品が、また出席者全員に記念品が贈られることになっています。

この日は、当市に引き続き三カ月以上住んでおられる八十歳以上のおとしよりには、ご本人か家族の申請で敬老年金として二千円が贈られることになっています。

今年、九十歳以上の高齢者は次のとおり。

九十歳＝男八名、女十八名

牧田ノブ（本町）山本アイ（本町）乾吉三郎（萱振町）藤原テル（栄町）古田シュン（相生町）越島ハナ（相生町）吉田敬造（安中町）本田クニ（安中町）大津クラ（東久宝寺）角田喜勢（末広町）森尾ちよの（幸町）竹本アイ（西山本町）岩本市太郎（福万寺町）植田ルイ（小阪合町）田口甚之助（山本町南）前田ヒデ（福万寺町）津田チカ（亀井）高見エキ（竹淵）坂上スエ（黒谷）逢坂亀太郎（水越）宮崎アイ（大竹）山田コマ（大竹）高田政吉（恩智）

長らくわたしたちの社会につくしてこられたおとしよりがいつまでも健康で楽しい余生をおくっていただくよう、みんなで大切にしてあげましょう。＝写真は老人ホームを慰問するよいこたち

市内最高齢は96歳

九十一歳＝男二名、女十七名

中島チエ（光南町）大西イサ（本町）桜井サカノ（宮町）小角キク（福万寺町）中谷シン（東山本町）桧垣カヨ（植松町）辻本ヌイ（植松町）横山キク（植松町）斉藤たす（安中町）松村ハナ（北木本）播磨チエ（山畑）藤中ユウ（刑部）辻本カル（田井中）牧野ハル（本町）岡田今吉（植松町）和多田すて（久宝園）芳田キヌ（山本町北）津田浅吉（亀井）末松ノブ（二俣）

九十二歳＝男七名、女十四名

中川リツ（亀井）田中イサ（亀井）渡辺末松（刑部）福井カメ（八尾木）山口トメ（老原）河内末松（久宝寺）竹中島ふさ（植松町）野口クマ（安中町）福田テル（安中町）岡本ハツ（本町）植田為吉（本町）辻井久吉（安中）長竹吉三郎（久宝園）沼井タマ（久宝寺）松本マキ（三津）大和宗吉（久宝寺）奥村ゑい（久宝寺）服部ヨネ（末広町）秦南岳（福万寺町）坂すみ（亀井）森田マスエ（垣内）

九十三歳＝男一名、女八名

岩崎つ弥（緑ケ丘）飯田トメ（服部川）谷迫志よ（久宝寺）川淵キク（太田）瀬良亀吉（栄町）佐藤トメ（東太子）樋口テル（願証寺）田淵ハナ（太田）谷口すじ（上尾町）

九十四歳＝女八名

吉川ヨネ（東本町）高橋ヤス（沼）稲津タカ（久宝寺）池上マツ（水越）植村志よ（山本高安町）酒井カネ（本町）鎌田キメ（上尾町）樋口マヒ（福万寺町）

九十五歳＝男三名、女七名

川口松次郎（八尾木）喜井のしキサ（末広町）（久宝寺）小西栄蔵（薬草寺）安田リウ（安中町）船谷ユウ（木本）中野クニ（南木本）中野久吉（安中）平尾リヨ（八尾木）寺嶋たけ（山本町南）

九十六歳＝男一名、女三名

樋元タキ（北木本）中西リヨ（本町）大塚為五郎（大竹）玉置

米づくり機械で

小阪合地区 共同防除機の初運転

小阪合地区の農家では、人手不足を補うため、四十九戸が集まって小稲高度集団栽培推進組合を組織して、水稲栽培の機械化を行なうことになり、このほど、二十馬力のトラクターと共同防除機各一台購入しました。先月二十三日、同地区の二十ヘクタールの水田で共同防除機の初作業を行ないました。この防除機は重量十二kgと小型ですが、散布幅四十m、十アール当たり一分で作業を行ないます。

近郊農業のこんごの振興策として注目されています。＝写真は小阪合地区での防除機の試運転

交通事故相談所を常設

最近、市内の各幹線道路の交通量は増加の一方。これとともに交通事故も増え、一家の大黒柱を失ったり、かわいいこどもを不具者にして、将来に不安を持つ方が多くなっています。

市では、この交通事故のあとしまつ、しろうとの私たちにはややとしい補償問題をどうすればよいか、訴訟の方法は、後遺症に悩まされているなどの点についてその解決に役立ていただくため、常設の交通事故相談所を開設することになりました。

市内の交通事故は、八月末現在ですでに六百九十四件、死傷者六百二十五人。昭和三十七年に交通安全都市宣言をした年の約二倍の増加ぶり。こういった問題をかかえた遺族、家族が途方にくれているといったケースが皆さんの身近かに、一人や二人おられることと思われます。

そのような方は、ぜひこの相談所をご利用ください。

この交通事故相談所は、交通事故後の補償、裁判や調停、弁護士や病院の紹介などいろいろな方面から専門相談員が相談に応じます。

■相談日時……毎週火曜日（今月五日から）午後一時から午後四時まで

相談場所……市役所市民相談室

市民相談室

毎週火曜日にどうぞ

当市に保健文化賞

十九日東京で表彰式

保健衛生部門で特にすぐれた業績をあげた団体や個人を表彰する第十九回保健文化賞の審査委員会が、先月三十一日、東京で開かれ団体の部に全国の市町村から当市が選ばれました。

これは昭和二十三年市制発足以来、市政運営の基本的な柱として市民の健康保持とその増進、そして快適な日常生活を保つために、①医療施設の整備充実②生活環境の整備③保健施設活動を重点的に取り上げ、特に、三十四年全市国保事業実施後に保健施設活動を活発に推進し成人病対策および結核対策を継続事業として実施するなど地区の環境衛生と公衆衛生の向上に努めた業績がみとめられたもの。

表彰式は今月十九日午後二時から東京・日比谷の第一生命ホールで行なわれることになっています。

お知らせ

3歳児の健康診断をお忘れなく

3歳児の健康を保ち、いろいろな病気を予防するため健康診断を行ないます。

■該当者＝昭和38年9月1日から昭和39年8月31日までに生まれた人。

■受診は無料。母子手帳がいります

11日	安中小学校
	桂　隣保館
12日	山本小学校
13日	山本幼稚園分園
14日	竹渕小学校
	大正中学校
18日	用和小学校
19日	清友幼稚園
	曙川小学校
20日	竜華中学校
21日	八尾小学校

9月の人権擁護相談は20日です

あなたやあなたの身近かに、他人からの無理難題でお困りになっている方はいませんか。人権擁護委員宅へ遠慮なく相談にお越しください。相談は無料で、内容の秘密は絶対に守ります。

9月の福祉会館での人権相談は9月20日（水）午後2時ー4時

選挙人名簿（追加）を縦覧しよう

9月1日現在で作製しました選挙人名簿（追加）を次のとおり縦覧していただきます。あなたの名前が名簿に登録されているかどうか確めましょう。

▷とき　9月11日から20日まで（午前8時半から午後5時まで）

▷ところ　市選挙管理委員会（市役所四階）なお、電話による問い合せもお受けします。

人の動き

＝42・8・1現在＝

人口総数	184,737人
男	93,493人
女	91,244人
世帯数	49,619
面積	41.255km²

秋の美術展　作品募集

搬入は10月22・23日

主催　八尾市、八尾市教育委員会

会期　十一月二日から七日まで。

会場　教育センター内公民館

募集作品　絵画、書道、写真、彫刻、手芸、俳画

作品の搬入　作品は次の日に必ず公民館へ搬入すること。十月二十二日二十三日両日の午前九時から午後六時半まで。

作品の裏には出品票を貼り、出品目録を添えること。

出品資格　八尾市民またはこれに準ずる十五歳以上の者。

体裁と制限

絵画　洋画八号以上八十号以内、日本画二㍍以内、商業美術全紙以内いずれも額ブチにはるか表装のこと。一人二点以内。

書道　四平方㍍以内、枠張または軸表装のこと。

写真　単写真に限る。白黒四ツ切以上全紙以内。題自由、枠または白色台紙張。一人三点以内。

手芸　刺しゅう（フランス、スェーデン、日本、リボン）編物（レース、毛糸）人形（くるみ、桜、日本　フランス）ローケツ（布地または皮地）いずれも一人三点以内。

彫刻　一㍍以内。

俳画　軸五尺以内、額三尺以内、色紙。

応募作品は審査のうえ、入選作品を陳列します。入選作品のなかから審査し、優秀作品には授賞します。

賞　知事賞、市長賞、議長賞、教育委員会、優秀賞（以上各種目ごと）このほか、寄託賞があります。

車に十分注意して

こどもの事故多発シーズン

こどもに愛のひと声を

今月一日から十五日まで、全国一斉に「こどもを交通事故から守る運動」が行なわれています。

学校も新学期がはじまり、こどもたちも元気に登校してきますが、この時期は夏休みの心のみみが出て、交通事故が多発するシーズンです。

市内のこどもの事故は、八月末で、百三十八件発生、死傷者百四十二名と痛ましい事故が続出し、特に増加の傾向を示しています。

こどもを交通事故から守るにはこどもに交通道徳をしつけるのはもちろんですが、車の運転手さん、おかあさん、学校の先生らが一丸になってこどもを守りましょう。

こどもには交通道徳を…

■まず、自分を守る心構えを植えつけよう。

■道路を横断するときは、必ず横断歩道で手を上げて、車が止まるのを見てから渡るようにしよう。

■道で遊んだり、幼児をひとり歩きさせないようにしよう。

■車のうしろと前にはいかないようにさせよう。

運転手の目をこどもに…

■こどもが横断歩道を渡り、渡ろうとしているときは、必ず停まって、こどもを安全に渡らそう。

■幼児が歩いているときは、特に注意して運転しよう。

大人は愛のひと声を…

■こどもの登下校中や、危険な場所を歩いているときは、連んで安全なところへ連れていきましょう。

■車が行きかう道で遊んでいるこどもには、いつでも、どこでも、だれでも、こどもを守るために、「愛のひと声」をかけましょう。

後期受講生を募集

25・26日に受け付けます

成人学級

仕事に家事に、日々の生活はきびしい現実の中にありますが、余暇に、絵を習いたいとか歌をみんなと一緒に合唱したいなど、明日の生活をよりよく、より楽しくしようと努力をしておられる市民の方に、市立公民館では、成人学級を設けています。

この成人学級は、十月から後期講座を開きますので受講生を次のとおり募集します。希望者は忘れず申し込んでください。

各講座の開講期間は十月から三月までの六カ月間で、会場は市立公民館（清水町一丁目、教育センター内）です。受講料は無料。ただし、科目によって材料費、テキスト代などの実費と、運営費として百円がいります。

▽申し込み資格＝八尾市民または市内勤務者で十五歳以上（学歴、性別は問いません）

▽申し込み方法＝九月二十五日（月）二十六日（火）の両日、午前十時から午後七時まで、公民館で受け付けます。ただし、定員に達しますと締め切ります。

成人学級

合唱＝混声合唱＝毎月曜午後六時、定員二十名▽詩吟＝朗詠、朗吟＝毎火曜六時、定員二十名▽写真＝カメラから引伸実技と鑑賞＝毎木曜午後六時、定員十五名▽手芸＝編物、人形、刺しゆう＝毎水曜午後一時、定員十五名▽書道＝かな＝毎水曜六時、定員十五名▽書道＝漢字＝毎水曜六時、定員十五名▽絵画＝油絵＝毎木曜午後六時、定員十五名▽英会話＝外人と話せるまで＝毎金曜午後六時、定員二十名▽俳画＝初歩から＝毎土曜午後一時、定員十五名▽ペン習字＝基本から＝毎水曜午後六時、定員十五名▽フラワーデザイン＝自然の花と乾草花を使う装飾技術＝毎火曜六時、定員四十名▽ママさんコーラス＝合唱＝毎木曜午前十時、定員二十名

専門講座

▽文学＝日本文学の古典鑑賞＝毎月一回、定員十五名▽生活の科学＝日常生活に結びついたこと＝毎月一回、定員二十名▽心の科学＝心理、教育精神衛生＝毎月一回、定員二十名

通信教室

▽短歌＝通信添削とグループ指導＝毎月二回、定員二十名▽俳句＝通信添削＝毎月二回、定員二十名

母親大学

▽PTA母親大学＝専門家の講義中心＝毎月二回、定員二十名▽母親大学院＝相互学習中心＝毎月二回、定員二十名

老人ホームへ

おくりもの

老人ホームに次の方々からあたたかい贈り物をいただきました。厚くお礼申し上げます。（敬称略）

▼寄付金　500円＝匿名、300円＝どこかの老人（61回目）　3,050円＝心の科学講座生、　1,000円＝福田フサ（植松町）10,000円＝永田恭三（東久宝寺）50,000円＝加藤詠史（東久宝寺）50,000円＝久保田鶴松（東大阪市）4,500円＝山野啓太郎（竹渕）3,000円＝匿名、300円＝どこかの老人　2,000円＝八尾市民生児童委員協議会婦人民生委員一同、10,000円＝竹内一枝（南本町）　500円＝匿名3,000円＝花岡佐吉（大阪市）1,000円＝西尾幸子（久宝園住宅）　5,100円＝柏原市民謡教室猪原公子（柏原市）300円＝どこかの老人、5,000円＝杉本清（本町）500円＝匿名、4,500円＝久宝寺仏教婦人会因野より子（久宝寺）12,760円＝吉川弘之さんら5名（東大阪市）

▼寄付物品　菓子1箱＝森口元之助（大阪市）雑誌6冊＝清水伊之助（東本町）菓子6箱＝着名（春日町）歯ブラシ7箱＝八尾用和地区民生委員石けん30箱＝かもじや（本町）タオル60本＝奥村衣料店（相生町）赤飯ほか60人分＝大橋捨松（大竹）バヤリース2ダース＝坊ちゃん食堂（末広町）西瓜10コ＝浦野武雄（植松町）アイスクリーム140コ＝日本アイスクリーム協会（大阪市）タオル47本＝久保田鶴松（東大阪市）あめ57袋＝竜華地区第2寿会、西瓜ほか＝匿名、清酒など＝西木明子（大阪市）巻寿司＝小島さんら（大阪市）もち＝中林喜一郎（安中町）ぜんざい＝匿名、牛乳＝重岡牛乳店（東山本町）タオルなど＝梶原仁一（大阪市）菓子＝薮下エイ（黒谷）サンリツサンリット＝森口元之助（大阪市）中国画報＝阿尾彰（久宝寺）果物＝脇田幾松（久宝寺）みかんなど＝匿名（羽曳野市）演劇など＝北高安幼稚園（水越）衣類＝稲田稔（安中町）まんじゅう＝今東光（山本町）砂糖＝久保初子（本町）おかき＝森口元之助（大阪市）三宝柑＝大浦信義（和歌山県）バナナなど＝堀川和子（東大阪市）菓子＝匿名（羽曳野市）日舞と菓子＝花柳友福伎（山本町南）＝つづく＝

恐ろしい！プロパンガス爆発事故

いま家庭で、もっともよく使われる燃料はガスと電気です。市内でも、よくプロパンガスのボンベをみかけます。

プロパンガスはどこでも持ち運びができ便利なため、多くの家庭で使われていますが、同時に事故も増加しています。

この事故を防ぐには、このガスの性質をよく知って正しい取り扱いをしなければなりません。

■器具を買うときは……

プロパンガス専用で、検定マークのついている優良品を選びましょう。

ゴム管は器具の口金に合う太さで締めつけ用のバンドのついたものを選びましょう。

取り扱いを正しく

■設備は正しく……

ガスボンベは必ず屋外におき、直射日光をさけ、ガス器具の近くに燃えやすいものを置かないようにしよう。

配管は金属管を使い、ゴム管はできるだけ短くし、口金とゴム管のつなぎ目にはゴム管止めをつけましょう。

■使うときは……

まず、使う前に、ガス漏れはないか、まわりにふきんや油などもえやすいものは置いていないか、ゴム管がつぶされたり曲ったりしていないかを調べましょう。

志紀公民館祭り

今月15日～17日

志紀公民館では、毎年恒例の第十回志紀公民館まつりを今月十五日から三日間開催されることになりました。本年は、敬老の日と明治百年の年にちなんだ行事を予定しており、明治百年を記念して近代日本の飛躍的な発展を生活文化の面から振り返ってみようと、展覧会を開催します。

同時に、成人教室や一般の方々の作品も展示します。

また、十七日午後一時から志紀中体育館で〝敬老月間〟にちなんだ演芸会を開催しますので、地区の方々多数の参加をお願いします

市職員人事異動

七月二十九日、総合基本計画の答申が行なわれましたので、企画室を新設し、一部人事異動を発令しました。

部長・部次長級

企画室長　三上幸寿▽企画室次　菅野喜一郎

課長級

企画室　兼企画課長事務取扱　菅野喜一郎▽調査課長　石井清蹟

7月3日付

課長補佐級

企画室　企画課主幹　松井一男▽調査課主幹　寺井元美

総務部　行政課主幹　越智　降

建設部　建築課長補佐兼建築係長　古屋敷　栄

公平委員会へ出向　西原憲一

係長級

総務部　兼行政課庶務係長　堅田治

企画室　企画課主査　浅井祥多▽兼務　姉川長浩

建設部　建築課営繕係長　藪内俊彦

吏員・事務員級

企画室　兼務　阪本克美

総務部　人事課　森　卓

民生産業部　市民課　奥野忠敬

建設部　土木課　友田定夫

7月4日付

課長級

建設部　建築課長　佃　稔夫

課長補佐級

建設部　兼土木課長事務取扱　奥野幸一

7月21日付

巡回府民相談

府では市民の日頃のくらしに役立てていただくために、次のとおり巡回府民相談を行ないます。

■開催日＝九月十四日（木）午前十時から午後四時まで。

■場所＝大阪府中河内地方事務所八尾市本町三丁目二一〇番地

■相談内容

(1) 商工相談（金融、経営、技術）

(2) 住宅相談（公営住宅、貸借、建設資金）

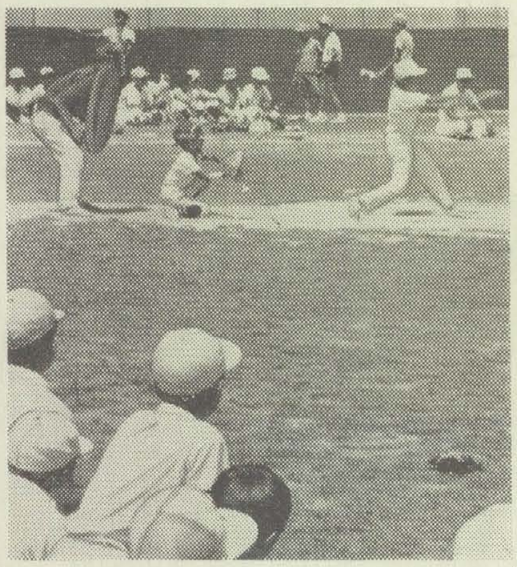
(3) 農事相談（技術、経営、生活）

(4) 花と緑の相談（家庭園芸）

(5) 交通事故相談

(6) 法律相談（民事関係）

(7) 府政相談



暑さをふっとばせ！

少年野球大会

今年の少年防犯野球大会は、先月二十三日、市立山本球場で、優勝戦を行ない、6年生のクラスでは、桂クラブチームが6対5で山本クラブチームを、5年生以下のクラスでは、八尾Aクラブが3対1で南山本クラブをそれぞれ延長、接戦のすえ破り優勝しました

―写真は熱戦中の少年たち―

市職員を募集

市では、事務、技術職員の採用試験を次のとおり行ないます。

職種と人員　①事務…上級（法律・経済）初級（高校）②技術…上級（土木・建築）初級（土木）

資格　①上級は昭和41年3月以降に卒業か43年3月卒業見込みの男子②初級は高校を昭和41年3月以降に卒業か43年3月卒業見込みの人（ただし技術系は男子のみ）

年令　①上級は昭和18年4月2日以降に生まれた人②初級は昭和22年4月2日以降に生まれた人

試験　事務、技術の第一次筆記試験は10月10日（火）午前9時、市立清友高等学校で

申し込み　9月5日から10月2日までに市役所人事課へなお、くわしくは市役所人事課（本町1丁目、TEL0729②局3881）へ問い合せてください。

総合基本計画そのあらまし

（第2回）

ビジョン（その2）

第五に市民精神は、河内のドケチといわれる一面もあるが、反面それは根性として、積極、進取合理主義の精神に通ずるともみることができます。この精神のよい点を市政にとり入れ、活発な市民活動の基盤にすれば、市政は飛躍的に発展するでしょう。

このような見地から、八尾の将来ビジョンを要約すると

信頼・生駒の緑に映えるまち

産業公害、都市公害のないまち

貧困、不衛生、差別のないまち

文化的遺産と教育・文化を尊重するまち

市民の積極的参加を期待するまち

といえるでしょう

これと共に考えられるのが市民憲章です。市民憲章はいわば住みよいまちを作るため市民自身の努力目標ということができるでしょう

これに対してこの将来ビジョンは市自体の努力目標です

このニつのものは、あいまって一つを形づくるものでしょう。

緑と空間がいっぱい

▽総論

序論

なぜこのような計画がつくられたのでしょうか？

いま八尾市は発展途上にある大阪経済圏の重要な都市の一つとして刻々に成長をつづけています。

人口も毎年一万人ふえ、新興住宅街が建ちならび、新しい工場街が生まれるなど一見活気のある立派な町になったように思えます。

しかしよく見てみますと、公害、交通停滞、失われるみどり、住宅街のすぐ隣りに工場が建つなど急激な成長によるヒズミがあちこちにでているようです。

つまり、無計画に放任された成長力はまちを発展させるどころかまちの機能をマヒさせ、環境の悪い過密都市をつくってしまいます。

このようなことが起らぬよう、現在の八尾の立地条件を考えて、住宅街、工場街、商店街、農業地帯などを計画的に開発して、成長力を正しい方向にむけ、均衡のとれた環境のよい、緑と空間に満ちただれでも住みたなる町をつくろうということからこの計画が考えられました。

この総合基本計画は土地や公共の施設をどのように利用していくかを社会や経済の動きとにらみ合せ広い立場から将来を見通して、その望ましい方向を示すもので、その対象となる範囲も市の行政上の問題だけではなく市民生活に関係する全ての施設、事業を総合的に整備、開発しようというものです。

実施の時期は41年度から出発し、最終的には20年後の60年を目標にして（20年間現市域が変化しないものとして）時代の流れに合うよう五年目ごとに検討を加えることとし実施計画も五年ごとに立案して具体化していくことになっています。

（つづく）